

平沢復興大臣記者会見録

(令和2年10月7日(水) 12:00～12:05 於) 川内村役場2階大会議室)

1. 発言要旨

皆さん、お疲れ様です。復興大臣の平沢勝栄でございます。

今日は川俣町、そして葛尾村、川内村の町村長さんに就任の御挨拶をさせていただき、あわせて意見交換をさせていただきました。

各首長さんからいろいろと地域の御要望がありましたけれども、川俣町の町長さんからは、少子高齢化の問題、移住促進ですけれども、これは他の所も、葛尾も川内も同じでございます。全ての首長さんから、移住促進、人口減の問題、これが出たところでございます。そしてとりわけ若い人がいなくなっていると。あわせて教育の問題と、こういったものが出たところでございます。

それから、川俣の町長さんからは、公共賠償の問題も出たところでございます。

葛尾の村長さんからは、復興拠点、それから復興拠点外の方針の明確化についての御要望が出たところでございます。

川俣村の村長さんからは、新たな風といいますか、活力の呼び込みということで、とりわけ移住・定住促進について強い御要望がほかの首長さんと同じようであったところでございますけれども、あわせてデジタルディバイドの解消、要するに情報通信環境の改善、これについて御要望があったところでございます。

こういった地域の御要望につきましては、しっかりと受け止めて、被災者のお気持ちに寄り添いながら、1日も早い被災地の復興に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えているところでございます。

私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今のお話の中で、復興拠点外の方針の明確化を早期に示してほしいという要望が上がっていると思いますけれども、こちらについてはどのように対応されるのでしょうか。

(答) これは総理も言っておられるんですけれども、将来的にどんなに時間がかかろうと、帰還困難区域の全てを避難指示解除し、復興再生に責任を持ってやり遂げたいということを言っておられるわけでございます。したがって、まずは復興拠点の整備を着実に進めまして、そして今日いろいろいただいたこういった御要望、これをしっかり踏まえて、そういった御要望に沿えるように全力で取り組んでいきたいと思っておりますけれども、タイムスケジュール

等はまだ申し上げる段階には全くありません。

(問) 3町村からそれぞれ移住促進・定住促進のお話があったと思うんですけども、復興庁として今後重要な課題と思うんですけども、こういった取り組みを考えていらっしゃるか。

(答) 今、川内村の村長さんともお話ししたところなんですけれども、例えば国際教育研究拠点がこちらのほうに来られることはもう決まっているわけでございまして、こういったことによって、私も今申し上げたところなんですけれども、これを単なる二重三重のものを持ってきてもだめで、世界的な研究機関をこちらにあれすることによって、この地域が、双葉の名前が日本じゃなくて全世界に通じるような形になる。

あわせて研究員がこちらに来られる。これは地域の大きな刺激になって、またいろんな方がここにお住まいになる。そういった交流も、いろいろな学者がここに集まれば、いろんな交流も出てくる。そういったことがこの地域の活性化につながるんじゃないかと。こういったことの試みをいろんな形でやっていくことが、この地域のいわば定住・移住の促進に大きくつながっていくんじゃないかということ、今申し上げたところでございます。

(以 上)